

Press Release

臨床医のための総合画像診断セミナー1

「PET-CTを臨床でとことん使いこなす」を開催

1月14日（水曜日）、大分全日空ホテルにて、大分大学医学部臨床医学系放射線医学講座様ご協力の下、「臨床医のための総合画像診断セミナー1～PET-CTを臨床でとことん使いこなす～」を開催しました。

同セミナーは、大分先端画像診断研究会が中心となって、大分県内の臨床医に画像診断の有用性を広く理解していただくために開催しているセミナーで県内の医療機関に勤務する医師、開業医を中心に約130名が参加し、盛況のうちに閉会しました。セミナー内容の詳細は下記の通りです。

【内容】

司会・座長：森 宣（大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座 教授）

●挨拶

「大分先端画像診断センターの役割」

大分先端画像診断センター長 友成健一郎

●Case Study1

「総合画像診断におけるPET-CTの位置づけー胸部領域ー」

大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座 講師 岡田文人

●Case Study2

「総合画像診断におけるPET-CTの位置づけー腹部・骨盤領域ー」

大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座 准教授 松本俊郎

●招待講演

「悪性腫瘍以外でのPET-CTの有用性とPET-CTにおけるITの活用」

宇都宮セントラルクリニック、株式会社ドクターネット 代表 佐藤俊彦



主催：大分先端画像診断センター

協力：大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座